

学校再編地域協議会上野台中学校区部会（第4回） 会議録

日 時	令和2年12月18日（金） 19時35分～21時35分
開 催 場 所	有馬富士共生センター 多目的室
出 席 委 員	西家 委員 平岡 委員 昌山 委員 小西 委員 大前 委員 住 委員 増田 委員 西上 委員 坪之内委員 前川 委員 今西 委員 森本 委員 渡邊 委員 眞造 委員 和田 委員 今北 委員 西村 委員
欠 席 委 員	永井 委員 中尾 委員
事務局出席者	（教育長）鹿嶽 昌功 （学校教育部長）松下 修 （まちの再生部都市政策室長）小倉 正大 （学校教育部次長）外岡 明文 （教育総務課長）浅野 晋司 （学校教育課長）山本 直也 （教育総務課担当課長）上野 樹 （教育総務課主任）鈴木 さやか （教育総務課指導主事）松田 成行
議 題	1. 開 会 2. 第3回部会全体協議の概要・・・資料1 3. 行政案およびその他の方策について・・・資料2 4. 上野台中学校区部会としての現時点でのまとめ（案）・・・資料3 5. 全体協議 ・上野台中学校区部会としての現時点でのまとめについて 6. 今後のスケジュールについて 7. 閉 会
傍 聴 人	15名

会議の概要

学校教育課長	<p>1 開 会 傍聴者の確認、欠席委員の紹介 —鹿嶽教育長 挨拶—</p> <p>2 第3回部会全体協議の概要・・資料1 第4回八景中学校区部会全体協議の概要・・当日配布資料</p> <p>—事務局より【資料1】および【当日配布資料】に基づき説明—</p> <p>—第3回上野台中部会で行われた「いじめに関する発言」について学校教育課長より補足説明—</p> <p>前回いじめについて質問があった件について補足説明させていただく。いじめについては、中学進学にあたって特に小規模校においてご心配な点があるかと思うので、3点説明させていただく。まず1点目は、「小規模校から大規模校の中学校に進学した場合のいじめ」について。大規模校である八景中と小規模校である上野台中の過去2年間の実際に起こったいじめについては、ほぼ同じ数の件数を学校が把握し、対応している。つまり、「小規模校はいじめが少なく、大規模校はいじめが多い」という画一的な状況はないということである。また、松が丘小から八景中へ進学した生徒が1年生の時に「背中を蹴られた」または「背中に足跡がついていた」という件については、すでに解決しているということである。中学1年生で起きたいじめのうち、小規模校である松が丘小出身の子が一方向的に多くいじめを受けているということはない。2点目は、「実際に学校でいじめが起きているのではないか」というご意見について。いじめがないのが一番良いことではあるが、市内のどの学校でもいじめは起こっているということをご理解いただきたい。決して、あきらめるとか放置するというのではなく、学校は家庭や地域と連絡・連携しながら、いじめの予防や早期発見・対応に努めている。3点目は「小規模校から大規模校に進む場合、いじめに耐えられるように、自らも強くならなければならないという指導を小学校で行っているのか」というご意見について。中学校に進学するということは、子どもたちにとって大きな変化であり、入学当初どの学校でもトラブルは多い。そのような中、小学6年生・中学1年生の教師は、人間関係の中で強くなっていかなければならないと指導することは、どのような規模の学校においてもあることだと思う。ただ、新しい環境で生活することのストレスを少しでも解消できるように、いずれの中学校でも進学前に小学校との交流をさかんに行っている。例えば、松が丘小の子どもは八景中の中で唯一自転車通学をしており、事故が多いこともあり、6年生対象に、八景中の生徒指導教員と生徒会役員が松が丘小まで行き、実際に安全指導を行い、スライドを使って危険個所の説明をするような特色ある取組を進めている。このような取組を通して、中学校進学への不安を軽減させていかなければならないと考えているので、ご理解いただきたい。</p>
--------	---

3 行政案およびその他の方策について・・・資料2

—事務局より【資料2】に基づき説明—

4 上野台中学校区部会としての現時点でのまとめについて(案)・・・資料3

5 全体協議 「上野台中学校区部会としての現時点でのまとめについて」

—事務局より【資料3】に基づき説明—

委員

何点か質問させてもらいたい。まず、資料2の「地域性」の評定について。表の行政案、「①松が丘を上野台中校区に」、「②松が丘・三輪を上野台中校区に」ともに3点になっているが、この評定が適切なのか気になる。例えば、「上野台と八景は、生徒会同士の交流がある」という話が以前あったが、それを地域性として評価して良いのか。地域・保護者それから子どもたちが、本当にこの上野台・八景校区で交流を持てているということの評価した3点なのか。そして、「通学の安全性」について。行政案は総合4点となっているが、それは新設校の場所によって大きく変わるだろう。ここに4点と入れてしまうのは、乱暴ではないか。また、「4(バス)」などと評定されているが、バスを使えば必ず安全ということなのか。資料では、行政案の平均が3.3になっているが、他の評定が変われば平均点も変化し、行政案の平均点が3点になることもあり得る。行政案が優れているとは思いますが、そのことが気になる。次に、資料3の総合的な見解の中にある「現在の上野台中の課題解消のために、何らかの学校再編は必要」には賛成であり、行政も今の上野台中に課題があることを認めていることになる。その課題解消のために、「上野台と八景とを統合する」ことを唯一の方策と考えているのか。統合するまでに、少なからず年月が必要だと思うので、その間上野台に通う生徒の課題解消の方策について全く書かれていないのが気になる。

事務局

八景・上野台の生徒会交流、学校の配置状況を含めて「地域性」と考えている。松が丘と三輪は近いのでより地域性があると考え3点とした。「安全性」について、上野台への坂を上り下りすることを考えると、バス利用の方が、自転車利用より安全に通学できると考えている。

委員

場所が決まっていないのに、行政案で「通学の安全性」が4点になっているのはどのような考えによるものか。安全な場所に建てるのが大前提になると思うので、それなら安全性は5点ではないか。保護者にとっても一番心配なのは安全性だと思う。八景の子が、現在不自由な通学を強いられているという課題を解消できる場所を探すのであれば、5点でないとおかしいのではないか。ぜひ一番良い場所を探しますという気持ちを見せてほしい。

事務局

一番良い場所を探すこととして、それでも上野台の生徒の通学時間は伸びると考

事務局(司会)	<p>えられるので、5点に近い4点としている。今の上野台の生徒の課題解消の方策については、バスのダイヤが部活動に合わない等の課題があることは認識しており、調整の努力をしているところである。例えば、八景と上野台の統合が決まった場合、八景との交流を盛んにすることにより、団体活動なども活発にしていけるのではないかと思う。</p> <p>統合までの上野台の生徒への支援については「課題4 子ども・保護者へのケア」で協議させていただく。</p>
委員	<p>資料2で、事務局は常に「子どもを主体に考えている」と言われているのに、「子どもへの負担については一概に数値化できない」となっているのはなぜなのか。また、行政案では適正規模を一時上回るのに「適正規模」に5点がついているのはどうなのか。「安全性」で上野台4点になっているが、志手原から自転車通学すると、ゴルフ場から自動車学校まで歩道もなく危険だが、全員バス通学ということで良いのか。以上質問する。</p>
事務局	<p>「子どもへの負担」については資料の通り、大規模校と統合すると子どもの負担が大きく、小規模校との統合なら負担がないと言えるのか、それを一概に評価するのは難しいと考える。校区変更することで、三輪や松が丘の生徒に負担がないのか、それも一概に評価できないという趣旨である。次に、志手原の生徒が自転車通学とした時の安全性については、以前の部会でも遠距離通学基準の見直しを求める意見もあったので、その文言を「部会まとめ」に入れていただくことも考えられる。行政案では一時的に適正規模を上回ることについては、その状態は一時的なものであり、その後適正規模となる見込みであるが、適正規模を下回る場合は、その後適正規模に回復することはなかなか見込めないことから、評価に違いがある。</p>
委員	<p>農村部はまちづくりをしないで、このまま衰退させていくということか。</p>
事務局	<p>決してそういうことではなく、まちづくりは大事だと考えており、行政としても空き家対策を含めて精力的にやっているが、その結果として生徒数がどんどん増えていくことはなかなか見込めないということである。</p>
事務局	<p>市として、地域の活性化ということでまちづくりに取り組んでいるが、これがいつ実を結ぶかはわからないということで、現状に基づき評価させてもらった。ただ、まちづくりをやらないということではない。今後人口の増加が見込める状況になれば、改めて評価することもあり得るが、現在の子どもたちの学習環境を整備するという観点で評価したもののご理解いただきたい。</p>
委員	<p>指標の項目の中に、子どもの負担に関するものが「通学の利便性と安全性」しかない。行政からは「子どもを中心に行政案を考えている」という説明だったが、そ</p>

	<p>れ以外の案も含めて、「子どもの負担」に関する評価をしてもらえないのか。行政としては「評価はできないが、子どものことはしっかり考えていく」ということなのか、ということが1点目。2点目は、八景は平成24～25年に大規模改修を行っている。行政案では、経費がたくさんかかるので、「経費」1点としていると思うが、数年前に行われた大規模改修でも税金が使われたと思うが、その時にその後何年間校舎を使う予定で改修されたのか。それなりの税金を使って大規模改修したのであれば、その期間は八景の校舎を使うべきではないのか。以上、回答いただきたい。</p>
事務局(司会)	<p>1つ目の質問の趣旨を確認したい。</p>
委員	<p>資料には「通学の安全性」の指標しかなく、子どもの負担が中心になっていないように見える。仮に数値化できなくても、統合により「子どもにこのような問題があったら、こう解決していきたい」という、子ども中心の考えを持った行政案なのかということを知りたい。</p>
事務局	<p>「子どもの負担については一概に評価できない」ということであり、決してそれを無視するわけではない。生徒の心理的、物理的な負担に対しては、子どものことを考えて真摯に取り組んでいきたい。25～30年をめぐり、学校の状況に合わせて改修をするが、前回八景を大規模改修した時には、学校の統合計画はまだなかったため、考慮していなかった。適切な時期に修繕等も含めて安全性を考慮して改修を決めていかなければならないので、今振り返って八景の大規模改修をしなくて良かったのかということ、そうではないと考える。学校の維持管理を適切に進めていこうとすると、場合によってはそのようなことも必要となる。</p>
事務局	<p>いじめも含めて、子どもの負担については教育委員会も学校も全力で取り組み、不安を解消していきたい。大規模改修については、少し前までは、50年で建て替えという方針があったが、今は80年という考え方が出てきている。大規模改修の間は、約20年を想定しており、統合となれば、八景の場合、その期間が短いと言えるが、それにも勝るところで、子どもたちの安全や新しい教育環境を、という考えのもと進めている。</p>
委員	<p>うちの小学校区で話し合いをした時に、「何らかの学校再編は必要」ということと「八景の生徒のことも考えなければいけない」ということが出ていた。その上で、高平から子どもが通うということを考えると、行政案と「②松が丘・三輪を上野台中校区に(以下、「②」と表記)」の2つの案のどちらかではないかという意見が出ていた。その中で、「②では八景の課題解消にはならない」ということに関して、「②を進めた上で、八景中を新設する」という考えはないのか、経費的には行政案とあまり変わらないのではないかという意見も出ていた。事務局としてその案は検討したのか。</p>

事務局	事務局としては、八景と上野台2校の課題解決できる案として行政案を示しており、八景だけを移転し、三輪・松が丘を上野台校区にということは考えていない。
委員	三輪・松が丘が上野台に行くとなると、八景の課題解消のために八景を移転するという案は、経費的にも行政案と余り変わらないと思うので、1つの案としてはありではないかという意見を地元では聞いている。適正配置や地域性の評価をどのような基準でしているのかがよくわからなかった。適正配置の項目で、行政案4点に対して、三輪・松が丘を上野台校区にする案は2点となっているのは、なぜなのか。地域性の観点も、3点と1点だが、上野台校区の学校には共通点があるとしても、三田駅付近の学校との地域性を考えるとマイナスもあるのではないかと。適正配置と地域性の基準を具体的に教えてほしい。
事務局	適正配置については、三輪・松が丘を上野台校区にすると、上野台校区には6小学校、八景校区には1小学校となることから、評価を2点としている。地域性については、一定のくくりとして八景・上野台におさまることから3点とし、それ以外を1点としている。
委員	適正配置については、小学校が何校集まっているのかで判断したということか。
事務局	小学校・中学校の配置のバランスを考慮して判断した。
委員	選択肢として示された3つの案の中で決めるなら、志手原の保護者代表としては、「③行政案に反対。新たな枠組みでの協議を希望する（以下、「③」と表記）」という意見である。PTA 全会員にメールを送り、開封率75%で異論はなかった。行政案は、人数規模が違い過ぎる、通学面で不安が残るということであり、②については、事務局からも、松が丘・三輪の子が上野台への坂を上ってくるのは大変だと言われているので、③としたい。
委員	「2つの学校の課題解消のために何らかの学校再編は必要」ということを考えると、ここでもう一度仕切り直しとなると、スピード感を持って協議を進めることができないのではないかと。子どものことを考えるとスピード感を持って再編することが一番良いと思う。新設校の場所や通学手段、安全確保、子どものケア等の具体的な策を提示してもらった中で、決定したいが、「①行政案に賛成（以下、「①」と表記）」寄りの意見である。まずは、議論を進めてほしい。
事務局(司会)	志手原保護者委員から先ほどメールによるアンケートをとったという意見があったが、75%というのは開封率か回答率か。
委員	開封率である。75%の人が内容を確認された。「異論があれば返信下さい」とメールしたが、異論は1件もなかった。

委員	何に対して異論がなかったのか。今まで部会で話を進めてきた中で、何をもって反対なのか聞きたい。自分は地域委員として、地元で意見を聞く中で、行政案でいいのではないかという意見は聞くが、反対という意見は聞かない。先ほど、行政案に反対というのが志手原の総意であるかのような発言をされたが、何をもって反対と言われているのか、それを委員の皆さんに説明してもらわないといけない。全体がある程度賛成で行こうとする中で、それを覆すだけの理由を言ってほしい。
委員	今までの協議会の内容と経緯を説明し、「③に賛成と発言したいのですが、どうですか」と問いかけるメールを送った。
委員	「その提案に賛成」という返信もなかったのか。
委員	賛成する返信はあった。
委員	それは何%か。
委員	「異論があれば返信ください」というメールだったので、1件だけであった。
委員	人に意見を聞く時に「反対するなら言って来い」というような言い方だと、なかなか反対の意見は言えない。返信がなかったから異論はないとは言えない。それは、意味のないことだと思う。今の話は委員のみなさんが納得できる話ではないと思う。投票して、賛成が何%ということではなく、「メールを送って、返信がなかったので、みんなの総意だ」と言われても、私は納得できない。全PTAのうち75%が賛成というなら納得するが、そうでないなら総意というのはおかしいのではないか。
委員	私たちが検討委員会を立ち上げた時に、アンケートをとり、どのような方向性がいいのかを聞いた上で、私たちの意見の方向性を決めた。アンケートで、行政案と他の4案でどちらに賛成かを聞いたところ、行政案に賛成は2件、あとは他の案が良いという意見だったので、「行政案に反対、他の案を希望する」ということを基本に意見を言っている。上野台・八景以外のことはこの地域協議会では議論できないということだったので、それならば「③に賛成」ということをメールで伝えた。
委員	今の発言でも、行政案に賛成は2件と言われるが、反対が何件あったかは出てこない。賛成が2件あるなら、総意とは言えない。
委員	今回のメールに対して、賛成されているその2件の方から反対意見が出るかと思ったが、それもなかったので、自分たちに任せてもらっていると認識した。
委員	本当にそれでいいのか。

委員	上野台部会のまとめとして③でということではなく、志手原保護者委員としての意見である。
委員	説明する際の表現については、十分気を付けてほしい。同じ志手原の地域委員にも何の連絡もなく、PTA だけで志手原の総意と取れるような意見を言われても、同意できない。
委員	志手原としての意見ではなく、志手原の保護者代表としての意見である。
委員	志手原全体ではなく、PTA の意見であると理解する。
委員	メールで PTA 会員の意見を確認した経過について補足したい。行政の方から指標をいただき、その内容を確認するのに時間がかかった。また、指標の中にも疑問な点もあり、それをきちんと確認してからでないと、保護者に集まってもらい今までの経緯を初めからわかってもらうことが出来なかったのも、委員として回答するにあたって、取り急ぎメールで①～③の案について意見をもらうことになった。送信した人数は63名、同じ家庭で両方の保護者が登録されているケースもあるので、世帯数とは一致しないが、全員が確認されたわけではないというのは事実である。全部で47件の人がメールの確認をされたので、80%近い人が開封されたという認識である。時間がない中、保護者全員に経過を説明することが難しく、メールという方法をとった。この会に来るにあたって、みなさん委員として一任されていると思う。地域の全ての人に確認することが難しいのと同様、私たちも保護者1人1人に説明の場を設けることは難しいので、委員として一任されこの場にいるとの認識である。
委員	だから、「総意ではないでしょ」と言っている。数人が「反対」の声を上げたら、他の人は何も言えなくなる。メールを送ったら終わり、何も確認していない。保護者がどれだけの意見を持っているのか確認できていない。総意としての意見を出すなら、総会等の機会を持つべきではないか。意見を取り下げるとは言わないが、きちんと順序を踏んで意見を言うべきではないか。
委員	確認したいことがある。当日配布資料(第4回八景中部会協議の概要)の中に「八景中部会としては、行政案に賛成として合意形成された」と書いてあるが、これは「八景中部会では、行政案で進めてもらって良い、行政案に賛成だ」という意味と理解して良いか。
事務局	その通りである。
委員	この2年間協議してきたテーマは、「行政案である八景と上野台の統合の是非を議論してほしい」ということだった。それを協議する中で、その他の案や各案に対

	<p>する評価について議論してきたと思う。八景校区が、上野台校区に対してウェルカムという意向ならば、「八景と統合するのか、しないのか」あるいは「方向は統合であるが、いくつかの課題を解決しないと今の段階では難しい」ということになるのかを決めていかないといけない。我々に残された時間にも限りがある。今までの協議については少なくとも尊重した上で、ぜひこの部会としての意見をまとめてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>具体的なことが明らかになっていないので、賛成・反対をなかなか言えないが、要は、新設する学校の場所が重要。母子から通う子どもの事も考えると、例えば今の八景の近くということになれば難しい。ちょうど中間点辺りに新設校を考えてくれるなら①で良いと思う。もし中間点より八景の方にいくのならば②が良いのではないか。私は新設校の場所の問題だと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>基本的には、高平 PTA の意見を尊重したい。自分は地域代表だが、子どもを持つ親として考えると行政案に賛成である。ただ、場所がとんでもない所になるのなら反対となるので、概ね賛成としたい。最初に言ったように、高平区長会としては、PTA の意見を尊重するという立場である。</p>
<p>委員</p>	<p>自分は上野台の 1 期生。その当時は、教室も少なく、プールもなく、バス停も学校の前ではなく、自動車学校の前まで走って行ったことを思い出す。また、横断歩道もなく、バスが来たので慌てて道を横切り、叱られたこともあった。だから、自分が一番気になるのは、場所の問題と安全の問題。統合が決定しても、学校の建設までは数年かかると思う。その間、気になるのは、部活動や免許外指導などの課題が上野台の子どもたちに残るということ。一時的でも、下の子どもが上野台まで上がって来てくれて、最終的には一番安全な方法で通学できる場所に統合するのが良いと思う。それまで、当面の間、下から上野台に上がってもらうことで、少しでも上野台の課題の軽減になればと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>総論としては、行政案に賛成。自分が子どもの頃は、篠山市の学校に通ったこともあり、自分の経験上、それほど心配はしていない。子どもには対応力がある。資料 2 の評価を見ると、学校規模等様々な指標が出されているが、賛成する理由の 1 つとして、農村部と市街地の生徒が合流することで、子どもたちが今までとは違った個性を身に付けることが出来るというプラス面がある。子どもの時からいろいろな人と接することで、人間形成に役に立つこともあると思う。統合が決定すれば、統合までの間、上野台と八景の交流を重ねてもらい、お互いに馴染んでもらいたい。これは、地域のみなさんに意見を聞いた上での、地域代表としての意見である。</p>
<p>委員</p>	<p>基本的には、①に賛成。賛成の中で、問題点があるのであれば、みんなで協議すれば良いと考える。</p>

委員	<p>私も①に賛成。統合までに数年かかるだろうが、その間に諸課題について我々保護者からもこうしてほしいという提案をさせてもらいながら、一緒に考えていきたい。</p>
委員	<p>通学の面で心配されているようだが、うちの子どもは朝7時頃に家を出て中学校に通っている。バスで40分ぐらいかかっているが、新設校はそれよりも5分ほど時間は長くなると思うが、地元の保護者はそのことは余りにしていない。それよりも、帰りのことを気にしている。下校時刻に合わせてバスがある、部活動が終了してからもバスで家まで送ってくれるということを望んでいる。それがかなえられるのなら、①に賛成。</p>
委員	<p>基本的には、何らかの学校再編は必要だと考える。今いる子どもたち、直近の子どもたちに支障が出ないようにするためには、何らかの手立ては必要。そういう意味では①か②と考えている。松が丘・三輪を上野台校区へという意見が地元で出た。当日配布資料の中で「八景部会としては行政案に賛成」という意見をいただいたので、①だろうなとは思いますが、次の会の中で②の案について松が丘・三輪校区の人がどう思われているのか、意見は聞かせてほしい。どちらにしても、大規模な学校が出来ると思うので、大規模校のデメリットへの対策についての議論も必要ではないか。そのことも含めて検討してほしい。</p>
委員	<p>基本的には、自分も同じ意見である。来年度上野台に入学する生徒は、様々な上野台の課題に直面する。それも含めて何らかの方策を講じてほしいという意見が保護者の中にある。ただ、判断するための具体的な内容が少ない。例えば、八景に近い場所に新設校が出来るなら、統合に賛成することは難しい。逆に、上野台に近い場所になれば、賛成意見が多くなると思う。新設校の場所、大規模校のデメリットへの対応等の課題を洗い出して、具体的に協議してからでないと、①～③のどの案が良いか判断するのは難しい。ただ、今までこの会で意見を積み上げてきた経過もあるので、何らかの方向性は出すべきだと考える。</p>
委員	<p>私は、①に賛成。日頃保護者と話をする中で、統合することへの反対意見はあまり聞かない。ただ、今まで話し合ってきたような課題、特に通学バス等のことをしっかり考えてほしいという声はよく聞く。いじめの問題が取り上げられていたが、確かに小規模校から大規模校に行くことについて心配はあるだろうが、例えば小規模校でいじめが発生したら、1対1の構図になってしまうが、大規模校であれば、逃げ道があるということも言える。自分にあった友達を少人数の中で探すのと、多人数の中で探すのとでは、全く違ってくる。そのような考え方もあるので、一概に大規模校だからいじめが多いという問題でもないと思う。逃げ道があるということ考えると、大規模校の方が自分にあった友達を見つけることができるという意見も聞く。いじめについては、いろいろな方向性から考える必要がある。行政案に賛成ということ踏まえて、さまざまな課題について協議すれば良いと思う。</p>

委員	志手原保護者委員としては、③に賛成。①については、いじめや通学等に不安があること、②は松が丘・三輪から坂を上って来るのが難しいのではないかとことから、③と判断している。対象校（上野台、八景）以外のことは議論できないということだったので、いろいろな案を検討するというで③を選んだ。
委員	メールの返信の中で、「この①～③についてはよくわからないが、例え統合されるとしても、今通っている生徒とこれから通う生徒のことをしっかり考えてほしい」という意見があったことを付け加えさせてもらい。
委員	資料2の評価の点数を見ると、行政案が非常に高いということを利用して、利便性や安全性も確保できるということならば、行政案を中心にすべきである。八景部会も行政案に賛成しているし、八景の場所が神戸市との境にあること、学校までの坂が急であること、校舎と運動場が離れていること等の課題が解消されるなら、三田市民として八景は移転すべきと考える。以上のことから、行政案を支持したい。
事務局(司会)	全ての委員からご意見をいただき、多くの方が「①に賛成」という意見だった。ただ、③が良いという意見もあった。どのようにまとめれば良いか。
委員	条件付きではあるが、みなさん行政案に賛成ということなので、「概ね行政案に賛成」にしてもらって良いと思うが、反対意見があったということだけはしっかり残してほしい。確認だが、場所の問題等を指摘する意見があったが、場所が悪ければ反対に戻るということか。
委員	そんな場所は選ばないよね。
事務局	場所については、出来る限りの努力をするということで預からせてほしい。決して、みなさんの意向を裏切ることがないように最大限みなさんの意見を尊重しながら場所の確保に努めたい。
事務局(司会)	では、「概ね、基本的には行政案に賛成。ただし、場所、通学、統合までの在校生へのケア、事前の交流等についての意見を最大限尊重する」ということ、「反対意見もあったということも付記する」ということでまとめさせていただく。時間の関係もあるので、その他の課題については、次回の部会で協議することとする。
	<p>6 今後のスケジュールについて</p> <p>－【次第】の予定については一旦キャンセルとし、改めて案内を送付することを確認－</p> <p>7 閉会</p> <p>－松下学校教育部長 挨拶－</p>

